



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社戸上電機製作所

コード番号 6643 URL <https://www.togami-elec.co.jp/>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）戸上 信一

問合せ先責任者 （役職名）取締役上席執行役員 管理本部長 （氏名）伊東 学 TEL 0952-24-4111

四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2020年3月期第2四半期	10,921	7.8	747	59.4	846	54.6	556	52.8
2019年3月期第2四半期	10,133	△9.7	469	△55.8	547	△50.3	363	△60.0

（注）包括利益 2020年3月期第2四半期 533百万円（58.8％） 2019年3月期第2四半期 335百万円（△63.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	112.05	—
2019年3月期第2四半期	73.27	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2020年3月期第2四半期	23,151	15,138	64.8
2019年3月期	23,615	14,830	62.3

（参考）自己資本 2020年3月期第2四半期 15,008百万円 2019年3月期 14,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	45.00	75.00
2020年3月期	—	40.00			
2020年3月期（予想）			—	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	22,550	0.9	1,800	4.3	1,900	0.7	1,320	2.3	265.79

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	5,028,658株	2019年3月期	5,028,658株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	64,430株	2019年3月期	63,968株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	4,964,455株	2019年3月期2Q	4,966,957株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の生産活動や輸出面で減速感が見られるものの、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に総じて緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米中貿易摩擦の長期化や英国EU離脱問題による海外経済の不確実性が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、2020年に「発送電分離」を控えた電力業界におきまして、経営の効率化やコストダウンの推進に伴う設備投資の抑制傾向が継続している中、一部の電力会社における配電自動化用子局及び配電用自動開閉器の需要が増加しました。また、民間設備の更新需要拡大を背景に、主力製品である配電用自動開閉器市場において需要が継続していることから、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,921百万円（前年同四半期比7.8%増）となりました。

損益面につきましては、徹底したコストダウンを推進するとともに、生産体制の最適化を図り、利益体質の強化に努めてまいりました。その結果、営業利益は747百万円（同59.4%増）、経常利益は846百万円（同54.6%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、本年8月に発生した九州北部の記録的な大雨による一部製品在庫の浸水被害を災害による損失として特別損失に計上したことなどにより、556百万円（同52.8%増）となりました。

なお、当社グループの事業は単一セグメントでありセグメント情報を記載していないため、製品区分別の売上状況を示すと以下のとおりであります。

「電子制御器」

電磁開閉器につきましては、空調業界を中心として国内向け製品の売上は順調に推移しましたが、海外向け製品における市況の悪化が影響し、売上減となりました。

電力会社向け配電自動化用子局につきましては、一部の電力会社において需要が増加したことから、大幅な売上増となりました。

その結果、電子制御器全体の売上高は2,146百万円（同15.6%増）となりました。

「配電用自動開閉器」

主力製品である波及事故防止機器（通称SOG開閉器）につきましては、工場構内の設備更新が堅調に推移し、無電柱化の推進に伴う地中線用開閉器の需要も拡大したことから、売上増となりました。

電力会社向け配電用自動開閉器につきましては、次世代配電網構築が着実に進展したことから、売上増となりました。

その結果、配電用自動開閉器全体の売上高は4,697百万円（同5.6%増）となりました。

「配電盤及びシステム機器」

配電盤につきましては、前期に引き続き、化学プラント設備関連を中心に高低圧盤一括受注の営業展開を継続したことにより売上が増加しましたが、メンテナンス・改造の案件等が減少したことが影響し、全体としては売上減となりました。

システム機器につきましては、前年同四半期と比較して畜産クラスター事業関連の案件が減少したものの、電気工事関連の大型案件が寄与し、売上増となりました。

その結果、配電盤及びシステム機器全体の売上高は1,596百万円（同3.1%減）となりました。

「その他」

金属加工や樹脂成形分野における部品等につきましては、産業用機械や自動車業界における需要が引き続き堅調に推移したことから、売上高は2,481百万円（同13.9%増）となりました。

なお、上記の金額は、消費税等抜きで表示しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は15,222百万円となり、前連結会計年度末に比べ772百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が936百万円減少したことによるものであります。固定資産は7,929百万円となり、前連結会計年度末に比べ309百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が202百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は23,151百万円となり、前連結会計年度末に比べ463百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は4,924百万円となり、前連結会計年度末に比べ821百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が362百万円、電子記録債務が114百万円減少したことによるものであります。固定負債は3,088百万円となり、前連結会計年度末に比べ49百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債が62百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は8,013百万円となり、前連結会計年度末に比べ771百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は15,138百万円となり、前連結会計年度末に比べ308百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が332百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の景気動向が業績に与える影響につきましては現在精査中であり、現時点では通期の業績予想につきまして、2019年5月10日に公表しました業績予想を据え置いております。なお、業績予想を見直す必要が生じた時は、速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,229,097	4,772,214
受取手形及び売掛金	5,910,835	4,974,791
電子記録債権	996,008	833,804
商品及び製品	783,057	783,745
仕掛品	1,498,151	1,577,911
原材料及び貯蔵品	1,312,803	1,296,998
その他	264,898	982,807
流動資産合計	15,994,852	15,222,274
固定資産		
有形固定資産	4,760,367	4,962,971
無形固定資産	157,763	162,035
投資その他の資産		
その他	2,706,084	2,808,500
貸倒引当金	△3,800	△3,800
投資その他の資産合計	2,702,284	2,804,700
固定資産合計	7,620,415	7,929,706
資産合計	23,615,267	23,151,981
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,181,890	1,819,387
電子記録債務	1,149,116	1,034,831
短期借入金	367,304	348,104
未払法人税等	329,098	287,861
賞与引当金	629,641	641,533
その他	1,089,010	792,502
流動負債合計	5,746,061	4,924,221
固定負債		
長期借入金	68,327	58,325
退職給付に係る負債	2,683,779	2,746,739
役員退職慰労引当金	17,052	17,783
その他	269,961	266,146
固定負債合計	3,039,121	3,088,994
負債合計	8,785,182	8,013,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,899,597	2,899,597
資本剰余金	580,161	580,161
利益剰余金	11,284,956	11,617,812
自己株式	△57,228	△57,978
株主資本合計	14,707,487	15,039,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68,245	57,508
為替換算調整勘定	102,912	76,199
退職給付に係る調整累計額	△175,853	△164,329
その他の包括利益累計額合計	△4,695	△30,621
非支配株主持分	127,293	129,794
純資産合計	14,830,085	15,138,764
負債純資産合計	23,615,267	23,151,981

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	10,133,357	10,921,839
売上原価	8,045,710	8,445,432
売上総利益	2,087,646	2,476,407
販売費及び一般管理費	1,618,516	1,728,748
営業利益	469,129	747,659
営業外収益		
受取利息	1,602	1,716
受取配当金	10,982	17,187
為替差益	26,406	—
鉄屑売却収入	23,272	20,036
保険返戻金	9,690	63,585
その他	41,895	45,636
営業外収益合計	113,849	148,161
営業外費用		
支払利息	3,988	3,353
売上割引	28,089	29,363
為替差損	—	13,588
その他	3,431	2,895
営業外費用合計	35,509	49,200
経常利益	547,469	846,620
特別利益		
受取損害賠償金	4,894	—
特別利益合計	4,894	—
特別損失		
災害による損失	—	62,595
特別損失合計	—	62,595
税金等調整前四半期純利益	552,364	784,024
法人税、住民税及び事業税	187,469	266,636
法人税等調整額	△4,306	△41,547
法人税等合計	183,163	225,089
四半期純利益	369,200	558,935
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,260	2,668
親会社株主に帰属する四半期純利益	363,939	556,266

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	369,200	558,935
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,040	△10,615
為替換算調整勘定	△39,403	△26,713
退職給付に係る調整額	9,969	11,524
その他の包括利益合計	△33,475	△25,804
四半期包括利益	335,725	533,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	330,886	530,341
非支配株主に係る四半期包括利益	4,838	2,789

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

自然災害による被害について

2019年8月に九州北部を襲った記録的な大雨により、当社の製品在庫の一部に浸水被害が発生しました。これにより、当第2四半期連結累計期間において、「災害による損失」として62,595千円を特別損失に計上しております。なお、現時点で合理的に見積もることが困難な費用等につきましては、「災害による損失」には含めていないため、当該計上額は今後変動する可能性があります。

また、被災した資産には保険を付しておりますが、保険金額が確定していないため、計上しておりません。